空き家をカフェとして活用したい！注意すべき点とは？

相続した空き家の活用方法として、リフォームしてカフェを始める方法があります。

空き家をカフェとして活用するには、どのように準備を進めればいいのでしょうか。また、空き家をカフェにするには、どんな点に注意する必要があるのでしょうか。本記事では、空き家をカフェとして活用する方法について解説します。

□空き家をカフェとして活用する流れ

空き家をカフェにするには、まずどんな客層をターゲットにするのかを決めるところから始まります。ターゲットにする客層は、空き家の立地条件によって変わるので、その場所の客層に合った店づくりが必要です。

次に、ターゲット層に合ったメニューを決めましょう。

若い年齢層を狙うのか、年配のお客をターゲットにするのか、または独身の男女かファミリー層かなどによって、メニューが変わります。カフェを開業するには調理師や製菓衛生士、栄養士などの資格が必要なので、業態に合わせて資格を取得しましょう。

次に、実際にカフェを作るための施工業者を選びます。

ターゲット層やメニューが決まれば、店のおおよそのイメージができていますから、あとは施工業者と空き家のどこをどうリフォームするかを決めます。古民家風のカフェにするなら、できるだけ空き家の良さを生かした内装にするといいでしょう。

カフェを開店する前に、必要な申請がいくつかあります。

まず、食事を提供するので保健所に申請する必要があります。お酒を提供するなら警察署にも申請が必要ですね。申請手続きが済んだら、仕入れ業者を決めてスタッフを募集すれば開業準備は完了です。

□空き家をカフェとして活用する際の注意点

空き家でカフェを開業すると、家賃がかからないのが大きなメリットです。

また、土地も建物もすべて自分の所有物ですから、法律上許される範囲で何でも自由にできます。ただし、カフェを開業してうまくいくかどうかは、やってみないとわかりません。

当然ながら、カフェの内装などにかなりの初期費用がかかりますから、想定より売り上げが少ないと経営にも影響します。

カフェを開業してうまくいくかどうかは、狙ったターゲット層が正しいか、内装やメニューがターゲット層に合っているかといった点にかかっています。

□まとめ

空き家を活用してカフェを成功させるには、ターゲット層を前提としたリフォームを進めることが大切です。

しかし、初心者が一からリフォームをするのは難易度が高いでしょう。まずは、空き家をリフォームして活用する方法を専門家に相談するのがおすすめです。